

職場体験学習を終えて

(松山中央消防署)

愛媛県立松山西中等教育学校 2年 小西 沙那

1, 松山中央消防署での体験

- ・ 1日目 車両見学、放水訓練、救助活動訓練
- ・ 2日目 普通救命講習(AED, 胸骨圧迫)、ホース延長訓練

2, 体験を通して知ったこと、分かったこと

放水訓練で、ホースを素早く延ばしポンプ車へつなぐとき、大きな声でつなぐことを仲間知らせなければいけないことを知りました。火事現場では放水している音や、サイレンの音などで周りの音や声が聞こえづらくなるため、周りの仲間たちに危険を知らせたり指示をしたりする時には大きな声を出さなければならないそうです。

普通救命講習で、胸骨圧迫をするとき、大人だと5cm下まで押さないといけないことを知りました。実際に体験してみると強い力が必要で、それを救急車が到着するまでの間ずっと続けなければならないのが、とてもしんどかったです。胸骨圧迫をしながら、AEDを交互に使うことも大変でした。

人が倒れているのを見つけたら、まずは助けを呼んで、呼吸の確認や胸骨圧迫など、みんなが助け合うことが大切だと分かりました。

3, 職場体験学習を終えて思うこと

私は、今まで消防署というと、火災に対応する消防士というイメージしかありませんでしたが、体験させていただいて、救急救命士やレスキュー隊など、ほかにも様々な仕事があると知りました。

救急車の出動数は、愛媛県で年間約28000件あって、1日に換算すると約77件になるそうです。消防署に救急車が帰って来ていない状態で出動命令がかかることが多く、すぐ次の人のもとへ行かなければならないところがすごく大変だと思いました。私たちの職場体験学習中も、一日中ずっと救急車がありませんでした。

職場体験学習を通して、私は人を助ける仕事にさらに興味を持ちました。女性の消防士も最近増えてきていると教えていただいたので、将来、考えてみたいと思います。